

全国手話研修センター後援会NEWS

2019-vol.3

～新年のごあいさつ～



全国手話研修センター後援会 会長 清田 廣



新年 明けましておめでとうございます。

皆様におかれましてはよきお正月をお迎えのことと存じます。本年はオリンピックの年となり、日本中がオリンピックに沸き返ることでしょう。

パラリンピックも開催されますので、障害者の理解、啓発に大きな力になることを期待しています。

全国手話研修センター後援会は去年12月時点で2018年度の同期と比較に会員は800人余り増加しています。3月末までに例年通りに進捗すれば4,500人くらいになり、当面目標である5,000人に近づいていくのではと思っています。

全国手話研修センターも若年層の手話通訳者養成モデル事業を進めております。手話奉仕員養成テキスト改訂版の発行も視野に入れ準備を進める予定です。しかし、2018年度決算では出版物で1,000万円の減収になりました。いろいろ理由があると思いますが、手話を学ぶ人の減少が一番の原因と思います。

手話言語条例の全国的広がりが見える中で手話を学ぶ人が比例しないのはなぜなのか考えなければならない課題です。日本の手話の発展は全国手話研修センターの発展なくして考えられません。後援会はそのために支援する力をもっともっと大きくしていきたいと決意しております。

全国の皆様、何卒お力をお貸しください。切にお願い申し上げます。

今年も皆様と共に歩み頑張っていきたいと思っております。

今年もよろしくお願い申し上げます。



☆☆手話研修センター法人役員と懇談☆☆

去る、12月14日、研修センターの法人役員と後援会役員との懇談会が開催されました。懇談会は、今年で3回目となります。懇談には、研修センターから黒崎理事長をはじめ理事、監事、職員が、後援会からは清田会長以下三役と幹事、監事の総勢20名が出席しました。

懇談会では、後援会の現時点の会員数が昨年度比130%で、当面5000人突破をめざして活動している様子を報告しました。大きな集会だけでなく手話サークルなど小さな集まりでは、研修センターの姿が見えないとの意見がある一方、センターの必要性が理解された地域では会員が増加しているなど、研修センターの事業や役割を知ってもらうことが大切であることが話題となりました。また、センターの情報を適宜発信していくことや、センターの役員や職員が、もっと後援会活動を応援して欲しいとの意見も出されました。今後も引き続き、意見交換を続けていく予定です。（事務局）



▽▲第2回幹事会開かれる▲▽

12月14日、第2回の幹事会が開催されました。出席者は三役、幹事、監事10人が出席しました。会議では、全国ろうあ者大会の場で初めて100人を超える入会者（127人）があったことや、全通研集会、センター手話まつりの他、初めて全青研で入会呼びかけをしたことが報告されました。また、各ブロックからは、大会決議に「後援会員を増やそう」のスローガンが入った（九州）、後援会の担当者会議を開催した（四国、北信越など）、後援会学習会を開催した（北海道）などの報告がありました。

また協議では、会費を延滞なく本部に納入することや、役員が活動する際の旅費や宿泊費のルール作り、ブロック活動を活発にするために活動費の使い道を広げること、後援会紹介DVDの改定について話し合いました。（事務局）

入会状況(2019年12月末現在)

		合計	ろう者	聞こえる人	目標	進捗
北海道	北海道	167	54	113	510	32.7%
東北	青森県	60	19	41	140	42.9%
	岩手県	42	17	25	100	42.0%
	宮城県	21	8	13	160	13.1%
	秋田県	26	11	15	70	37.1%
	山形県	24	20	4	90	26.7%
	福島県	142	81	61	200	71.0%
	計	315	156	159	760	41.4%
関東	茨城県	18	16	2	130	13.8%
	栃木県	69	36	33	160	43.1%
	群馬県	112	83	29	200	56.0%
	埼玉県	67	22	45	610	11.0%
	千葉県	200	59	141	280	71.4%
	東京都	71	40	31	750	9.5%
	神奈川県	64	27	37	390	16.4%
	山梨県	119	54	65	100	119.0%
		計	720	337	383	2,620
北信越	新潟県	19	14	5	140	13.6%
	長野県	43	7	36	170	25.3%
	富山県	58	23	35	120	48.3%
	石川県	86	29	57	160	53.8%
	福井県	12	6	6	60	20.0%
		計	218	79	139	650
東海	岐阜県	36	17	19	150	24.0%
	静岡県	268	115	153	340	78.8%
	愛知県	153	77	76	520	29.4%
	三重県	67	37	30	190	35.3%
		計	524	246	278	1,200
近畿	滋賀県	57	20	37	170	33.5%
	京都府	191	46	145	330	57.9%
	大阪府	315	191	124	750	42.0%
	兵庫県	183	66	117	430	42.6%
	奈良県	141	58	83	140	100.7%
	和歌山県	68	26	42	130	52.3%
	計	955	407	548	1,950	49.0%
中国	鳥取県	88	25	63	60	146.7%
	島根県	32	4	28	70	45.7%
	岡山県	103	36	67	190	54.2%
	広島県	164	51	113	280	58.6%
	山口県	69	8	61	110	62.7%
	計	456	124	332	710	64.2%
四国	徳島県	34	10	24	40	85.0%
	香川県	52	26	26	100	52.0%
	愛媛県	37	17	20	120	30.8%
	高知県	56	10	46	90	62.2%
		計	179	63	116	350
九州	福岡県	79	23	56	450	17.6%
	佐賀県	5	1	4	50	10.0%
	長崎県	83	13	70	190	43.7%
	熊本県	52	21	31	140	37.1%
	大分県	29	3	26	160	18.1%
	宮崎県	13	4	9	100	13.0%
	鹿児島県	22	4	18	80	27.5%
	沖縄県	5	2	3	80	6.3%
		計	288	71	217	1,250
合計		3,822	1,537	2,285	10,000	38.2%

みなさんの大切な後援会会費で 資料室を運営しています。

後援会の御協力で5年前にスタートした手話総合資料室は、当初は資料も少なく、さみしい部屋でした。初めは京都府立聾唖学校(現：京都府立聾学校)の資料のデータ化が中心でしたが、徐々に全国から資料が集まり、約2000冊(開設当時の2015年は約300冊)を越えました(下写真)。今は8万ページ(開設当時は約2万ページ)を越えるスキャン作業し、そのデータをアーカイブする日々追われています。資料室がデータ化した京都府立聾学校の資料は昨年度国の重要文化財に指定され、今では簡単に実物の閲覧ができませんが、資料のホームページでは自由にご覧いただけます。その他にも貴重な史実も多く見つかリ、有意義な取り組みだと感じております。

現在、資料室ホームページ(<https://jisls.jp/shiryo/>)で①ろう教育②ろうあ運動③手話研究④映像、その他(個人の出版本など)を分類別に掲載しています。それらの実物を閲覧し、ろうあ者が歩んできた道のりを実感してもらえるように、将来は、日本の手話やろう教育、ろう運動に関する国際的な資料館に発展させたいと思っています。どんどん資料室を活用していただくと共に、皆様の家に眠っている、貴重なろうあに関する資料(本)の提供をお待ちしております。



全国から次々と資料が提供され、新たに購入した大きな本棚がびっしり。(2020年)

【第16回さかの映像祭】 テフムービーってなんだ!?



電子チケットの
購入はこちらから



さかの映像祭
Facebook

日時：2020年2月9日(日)

10:00~18:00

会場：同志社大学 寒梅館ハーディーホール
前売り：1,200円 当日：1,500円

〒616-8372

京都市右京区嵯峨天龍寺広道町3番地の4
社会福祉法人全国手話研修センター後援会
TEL：075-873-2646 FAX：075-873-2647